

表章に係る一般的注意事項

- (1) 表の数値は、その事象が出現する可能性を持っているが、統計上出現のなかった場合は「-」、本質的に出現することのありえない場合は「・」で記入する。

なお、「0」は小数点第1位以下が存在する可能性がある（例えば、小数点以下0.4を四捨五入した場合等）という意味となるため、「0」という表現使用に当たっては特に注意する。

- (2) 表番号は「(T〇〇-〇〇)」と表現し、図番号は「(F〇〇-〇〇)」と表現する。これらの番号は、各表題の後に明記する。

番号の組成は以下のとおりである。

$$\left(\begin{array}{ccc} \underline{T} & \underline{〇〇} & - & \underline{〇〇} \\ \textcircled{1} & \textcircled{2} & & \textcircled{3} \end{array} \right)$$

- ① …… T=表、F=図（グラフ）
② …… その表・図の表章される「章」を表す（exp. 第1章の場合「1」）
③ …… その表・図の表章される章における、T、F、〇別の一連番号
（exp. 第1章の最初に掲載される表・図の場合「1」）

2及び3について1桁の場合は1桁とする。様式に変更が生じた場合、また保健所において任意様式を追加掲載する場合は、この方法により採番する。